創作プログラムのご案内 受講生を募集します

七宝で彩るお皿

「七宝」は、銅板などの金属の素地に、ガラス質の釉薬をのせて焼き、装飾する技法です。今回は、参加者それぞれが考えた図案を元に、アクセサリーと小皿をつくります。色鮮やかな七宝の世界を楽しみましょう。



講師作品《有線七宝蓋物「森の実」》2017年 当館蔵

日時：10月25日(土)、26日(日) 10時-16時
　※2日連続　※お昼休憩をはさみます
講師：水落雅子氏（七宝作家、当館収蔵作家）
対象：中学生以上15名
会場：美術館実習室　　材料費：3,000円

【申し込み締め切り：10月9日(木) ※先着順】

キラキラ七宝体験！

カラフルなガラスの粉を金属の土台にのせて焼く、「七宝焼き」を体験します。好きな模様を考え、オリジナルの小物入れをつくりましょう！
(直径4.2cm、高さ1.5cm程度の小物入れの蓋を七宝で装飾します)

日時：11月3日(月・祝) 14時-15時30分
講師：美術館スタッフ
対象：小学生10名程度（※小学3年生以下は保護者同伴　※付き添いは1名まで）
会場：美術館実習室
材料費：800円

【申し込み締め切り：10月24日(金) ※先着順】

お申込み
お問合せ

県立美術館「創作プログラム」係
TEL 024-531-5511
美術館総合受付、美術館ホームページからもお申し込みいただけます。

開館スケジュール（〇印＝休館日）

10月

日	月	火	水	木	金	土
			①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	18
19	⑳	21	22	23	24	25
26	㉗	28	29	30	31	

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	④	5	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑰	18	19	20	21	22
23	24	㉕	26	27	28	29
30						

利用案内

開館時間　9時30分-17時(最終入館は16時30分)

休館日　月曜日(祝祭日の場合は開館し、翌平日休館。ただし9月22日は除く)／祝祭日の翌日／年末年始(12月28日～1月4日)／展示替にともなう臨時休館(9月30日～10月17日)

観覧料　一般・大学生360円(20名以上の団体は280円)、高校生以下無料　※企画展観覧料は展示により異なります。〈企画展〉欄をご覧ください。　※企画展料金で常設展も観覧できます。
※こどもの日、県民の日(8/21)、敬老の日、文化の日は常設展が無料になります。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料です。(手帳をご提示ください)付き添いの方1名も無料となります。

交通案内

〈JR福島駅・東口より〉
■電車　福島交通飯坂線「美術館図書館前駅」下車徒歩2分
■バス　9番乗場より福島交通バス／市内循環ももりん2コース「県立美術館入口」下車徒歩3分
■タクシー　約5分
〈自家用車の場合〉
東北自動車道・福島飯坂ICより市街地方向へ約15分



福島県立美術館
〒960-8003
福島市森合字西養山1番地
TEL 024-531-5511
FAX 024-531-0447
https://art-museum.fcs.ed.jp



リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

2025.10-11 vol.239

MUSEUM NEWS

福島県立美術館
FUKUSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

開催中　企画展示

「生誕 140 年　竹久夢二のすべて
画家は詩人でデザイナー」
2025 年 10 月 18 日（土）- 12 月 14 日（日）



開催中 企画展示

生誕140年 竹久夢二のすべて
画家は詩人でデザイナー

2025年10月18日(土)-12月14日(日)

メランコリックな表情を湛えた、しなやかで優美な女性像。可憐な少女や、愛くるしい子どもたち。描いたのは、大正ロマンを代表する画家、竹久夢二(1884-1934)です。「夢二式美人」と呼ばれる美人画で一世を風靡し、時代の寵児となった夢二は、絵画の世界にとどまらないその多彩な個性と才能で、今もなお高い人気を持ち続けています。

本展は、竹久夢二の生誕140年・没後90年を記念し、京都・嵐山にある福田美術館が所蔵する、実業家・河村幸次郎旧蔵のコレクションを12年ぶりにまとめて公開するものです。画家であり、詩人、デザイナーでもあった竹久夢二の「クリエイター」としての魅力に焦点を当て、夢二の人生を語るうえで鍵となる連作《長崎十二景》や《女十題》、そして《旅》、《青春譜》などの名作から、音楽とのコラボレーションが楽しいセノオ楽譜や中山晋平楽譜の表紙原画、その文才が発揮された小説や俳句に至るまで、夢二のすべてをご紹介します。

さらに福島会場だけの特別展示では、画業を通じて幾度となく本県を訪れた夢二の足跡を、福島ゆかりの作品とともに辿ります。

美人画家の枠におさまりきらない、夢二の新たな一面をご覧ください。



竹久夢二《長崎十二景 眼鏡橋》1920年



竹久夢二《中山晋平曲「童謡小曲」第十五集 原画》1930年

すべて福田美術館蔵(旧河村コレクション)

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
観覧料:一般・大学生 1,300(1,200)円/高校生 800(700)円/小・中学生 500(400)円
※( )内は前売および20名以上の団体料金
※身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方、付き添いの方1名は、企画展・常設展とも無料(手帳要提示)
※ふくしま教育週間(11月1-7日、ただし4日は休館)は高校生以下無料

前売券の販売は10月17日㈮まで

[プレイガイド]福島県立美術館、福島県庁消費組合、福島市役所売店、福島交通飯坂線(福島・桜水・飯坂温泉)、岩瀬書店全店、チケットぴあ、セブンチケット、福島民報社本社・郡山本社・支社支局・販売店

〈関連イベント〉

講演会「夢二・漂泊の軌跡 ふくしま編」
開催日程:10月25日(土) 14時-15時30分
講師:鈴木誠一氏(元郡山市立美術館長)
会場:美術館講堂 ※聴講無料

ギャラリートーク
開催日程:11月8日(土)、11月22日(土)
各日14時-15時
講師:当館学芸員
会場:企画展示室 ※観覧券をお持ちのうえ展示室入口にお集まりください

「トークフリーデー」のご案内

展示室内での声の大きさを気にせずご家族やご友人とお話ししながら鑑賞を楽しめる日です。

〈実施日〉11月3日(月・祝)
※この日は企画展・常設展ともに「トークフリーデー」となります。

常設展示 福島県立美術館のコレクション

第III期コレクション展
2025年10月18日(土)-12月14日(日)

〈主な展示内容〉
- ●詩と美術:「竹久夢二のすべて」展と関連して
- ●福島の木彫:三木宗策《十二支》(新収蔵作品)、小荒井勇人《馬小屋の記憶》(寄託作品)ほか
- ●海外作品の名品:モネ《ジヴェルニーの草原》ほか
- ●河野保雄コレクション:ガラス絵の世界

〈関連イベント〉

ゲストトーク「自作を語る」
日時:11月9日(日)14時-40分程度
講師:小荒井勇人氏(彫刻家)

常設トーク「福島の木彫」
日時:12月6日(土)14時-40分程度
講師:増渕鏡子(当館副館長兼学芸課長)

※2階常設展示室Bで開催します。いずれも申込不要、要観覧券。当日は直接会場にお集まりください。

「アートなおはなしかい」のご案内

図書館での絵本のよみきかせのあと、美術館で鑑賞会をします。鑑賞会では作品をより楽しめる本の紹介もあります。さいごに工作をしましょう!

●日時:11月15日(土)14時-15時30分ころ
※13時50分(開始10分前)に県立図書館のこどものへやに来てください
●対象:5才~小学生20名まで(保護者も含む)
※先着順、保護者の付き添いは1名まで
●場所:県立図書館、美術館
●講師:図書館司書、美術館学芸員
●経費:無料
※事前申し込みが必要です(受付は10/15㈬~)。
美術館(024-531-5511)または図書館(024-535-3218)こどものへやまで